

結婚記念日の雑学

二人の入籍した日、または結婚式をした日を祝う、結婚記念日。元々日本では、夫婦の関係よりも家同士の絆を重んじる傾向にあったため、結婚記念日を祝う習慣はありませんでした。その発祥はイギリスとされ、当初は5年目、15年目、25年目、50年目、60年目の5回だけのお祝いでしたが、アメリカに伝わる際に回数が増え、その後日本にも伝わったとされています。明治27年に明治天皇が銀婚式「大婚25年祝典」を行ったことがきっかけとなり、現在では結婚25年目の銀婚式と50年目の金婚式が大きなお祝い事として定着しています。

日本ではまだまだ少ないかもしれませんが、結婚記念日はその名称とそれにちなんだ贈り物をして祝うのが欧米の風習となっています。名称は国や地域で異なりますが、共通して柔らかい物から硬く価値のある物へ移っていきます。これは少しずつ強固な絆を育んでいく夫婦の関係を象徴しています。数多くある種類の中から少しご紹介します。

1年目	紙婚式	白紙から夫婦の生活がスタートするという意味をもつ。紙製品を贈る。
5年目	木婚式	二人が一本の木のように安定していることを表す。木製品を贈る。
10年目	錫婚式	錫(すず)のように美しさと柔らかさを兼ね備えた夫婦を願う。
15年目	水晶婚式	信頼しあう、澄みきった水晶のような心を持てるようにという意味をもつ。
20年目	磁器婚式	年を経るごとに値打ちが出る磁器のような関係性。
25年目	銀婚式	結婚生活の一区切りと、いぶし銀のような内面の美しさを表す。
30年目	真珠婚式	夫婦の関係を富と健康を表す海の宝石にたとえている。
40年目	ルビー婚式	ルビーの赤色のような二人の深い信頼関係を象徴している。
50年目	金婚式	人生や経済的にも金色の輝きを得た豊かさを象徴している。

北枕って縁起が悪い？

一般的に、ご遺体を安置する時は頭を北の方角に向けて寝かせますが、その理由は昔、お釈迦様が亡くなられた際に頭を北にしていた姿が由来となっています。その連想から、人は北枕で寝ると縁起が悪いと言われています。しかし、実際北枕で寝ると体に良いという「北枕健康法」が存在するのをご存知でしょうか。

地球上には微弱な磁場があり、私たち人間にも鉄分などの微弱な磁気が通っています。もし人間の体が方位磁針の針だとすると、頭は北の方向を指し、北枕で寝ることによってその磁場に逆らわない自然な向きになります。こうすることによって血液の流れがスムーズになり、眠りが浅い人でもすぐに寝付くことができ、熟睡できるようになる人もいるそうです。風水でも北枕は、「気の流れをよくする」と金運アップの効果で知られています。